

「株式会社 姫路シティFM21」

第33回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成20年9月20日(土曜日) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 姫路市本町68イーグレひめじ地下2階ミーティングルーム

3. 出席状況

1) 委員総数 11名

2) 出席委員数 6名

3) 出席委員の氏名(敬称略、順不同)

有馬 妙子 岩成 孝 梅宮 功
大谷 昭仁 岸田 直美 柳谷 郁子

4) 欠席委員の氏名(敬称略、順不同)

上田 達也 勝木 洋子 段 秀和
榎 直登 笹間 清二

5) 会社側出席者氏名

白井 正敏 (専務取締役 放送局長)
山南 俊雄 (常務取締役 営業部長)
小幡 博 (営業企画 課長 兼 放送総務 課長)
小林 寛幸 (放送総務部編成制作担当)

4. 議題

資料をもとに説明

(1) 事業報告

- ・平成20年6月度からの事業報告
 - 10月改編
 - 防災関連放送について
 - 公開生放送について(通常番組放送、開局記念放送)
 - GENKIラジオクラブ交流会について
 - 姫路市総合防災訓練について
 - TOTOお客様感謝祭について
- ・今後の予定
 - 10月からの新番組について
- ・試聴：手柄山ピースフルメッセージ、交通安全宣言

5. 審議内容

- 委員長 (交通安全宣言 視聴を受けて)
交通事故もそうですが自殺者も減らないですね。(年間3万人)
- 委員
担当 交通事故は特に高齢者が多い。
交通事故については、姫路市安全安心課も「交通死亡事故多発注意報」を発令しています。ラジオとしては、注意喚起を主にドライバーを対象に発信しています。
自殺問題については、ラジオで何ができるかを研究したいと考えています。
- 委員 その通りで、運転者に呼びかけることが大事だと思います。
お年寄りや子どもに対して、ラジオを通じて呼びかけるのには限度があります。ラジオの役目として、頻繁に呼びかけて欲しいと思います。
- 委員 交通安全宣言もそうですが、運転者に対しての呼びかけがもっと必要だと思います。
声のトーンなども変えて、厳しい口調で言うのも効果的だと思います。
- 委員長 事故の多発する時間帯に集中して放送するのが効果があるのではないのでしょうか。
- 局長 従来はナレーションをパーソナリティーで録音してましたが、今回はGENKIラジオクラブの高校生からお年寄りまでの会員にて録音しました。
- 委員 可能であれば、イベントや取材などに行った時に、いろんな年齢層の人で録音しておくのは？
- 担当
常務 パターンを増やしていきたいと思います。
現在放送中ですが、子どもの声で、「運転気をつけてね。」といわれると“はっ”とします。
- 委員 お年寄りの声も効果的です。
自殺する人はラジオやテレビを利用していると思われたい。
ラジオの役目として周りの人に呼びかけてすりこむ。
「あなたの優しさや一言が誰かを助けるかも知れない。」などと。
交通事故予防、自殺予防、登校拒否予防などに繋がると思います。
- 委員
担当 人を思いやる心が欠けている。言い続けるしか仕方がないですね。
ラジオはテレビのように家族で見えるものではなく、パーソナリティーと1対1の関係になります。
パーソナリティーの言葉で勇気付けられたりもします。
NHKのラジオ深夜便が人気があるのは、安らぎを提供しているからだだと思います。ゲンキとしても取り入れていきたいと思っています。
- 局長 交通事故予防などは、市役所や警察などからも情報を得ていますが、自殺予防について、FMゲンキで何ができるか？
専門家や官公庁などの情報を得るなどして、しっかりと取り組んで

いきたいと思います。

事故米の件では、姫路周辺のお菓子やさんも被害を受けています。報道機能を持たないFMゲンキとしては取り扱うことが難しく、新聞記事等を紹介しています。

委員 (手柄山ピースフルメッセージの視聴を受けて)
ノンフィクションタッチで、ゲンキには今までにない番組ですごくいい番組だと思いました。

注目度も高いと思います、今後期待しています。

委員 放送で聴きました。とても良かったと思います。

委員長 全国で唯一つの慰霊塔について、行政の観光会議でも議題に上がってきました。注目度もあります、期待しています。

局長 (新番組・元気発信！ふれあいラジオ) について)

取材をさせていただけるお年よりをご紹介ください。

担当 戦争を経験された方々の貴重な意見、昔の姫路を知るお年寄りの様々なお話を残しておけるのはFMゲンキしかないと思っています。

委員 ぜひやっていただきたいと思います。とても必要なことだと思います。

担当 「飛び出せ！まちの元気人」では、月1度ほど、公民館で出張録音をしています。地域のお年寄りのお話は本当に為になります。

委員 視覚障害の方は本当によくFMゲンキを聴いています。

仕事をしながら聴いている方も多く、他にはない、身近な地域の話に興味を持たれています。

委員長 老人会の方々が頑張っています。

委員 慣習的な伝統文化が廃れていて、もったいないと思います。

言葉は言霊、ラジオはそれを伝えることができます。

四季折々の伝統文化をすり込むことが大事だと思います。

委員 婦人会では、子育て支援をしています。

お母さん達の取り組みなどを取り上げてもらえますか？

担当 今までもいろんな形でとりあげてきていますが、これからもゲスト出演など中心に、紹介していきたいと思います。

委員長 (企業イベント協力について)

運営方法は？

課長 イベント主催の企業が製作運営をすることが多いです。

ゲンキとしては、放送局として、特別番組放送、中継生放送、そして、イベント告知のラジオCMなどの放送業務と、司会者派遣、音響制作などのイベント業務を請け負っています。

委員長 ボランティアスタッフの募集は？

担当 随時行っています。

局長 ボランティアスタッフからパーソナリティーやディレクターになった人もいます。

午後3時、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 平成20年9月28日

公表内容 審議の概要

公表方法 自社放送16時00分～17時00分「気まぐれ日曜日」内
事務所据え置き、ホームページ (<http://www.fm-genki.com>)

以上